

知的障害者の就業支援

作業カードでやる気アップ

知的障害者が働く場として、弁当を製造販売している水戸市の社会福祉法人ユーアイキッチン（施設長・藤沢利枝同法人事務局長）で、その日の作業が一目で分かる「タスカルカード」と名付けた手法を導入している。作業内容が良いと表彰される制度と併せ、やる気を高める効果を発揮。同施設は「ほかの施設・企業でも参考にしたい」と、仕組みをまとめた小冊子2000部を作成、希望者に配布している。

水戸市の福祉法人施設 ユーアイキッチンで導入

ユーアイキッチンは、所をはじめ、近隣の民同市千波町の県総合福祉会館1階に事務所を構え、知的障害者21人が働く。常勤・非常勤合わせて17人が就労支援に当たっている。作業内容は、米を炊飯器にセットする「炊飯作業」、決まった分量の「ごはんを詰める」「ラップ」などの作業をカード化。カードはイラスト入りで、作業者ごとに各カードを仕事の順番でボードに張り出している。

カードは、仕事（タスク）が分かること、王冠シールを贈り、ボードを見れば評価まで見える形にした。同方式の導入は、同法人事務局長の藤沢さんが1年半前、施設長を兼任するこ



作業をカード化した「タスカルカード」ボード。水戸市千波町



カード方式の取り組みをまとめた小冊子

となり、複雑化した作業工程表の改善に着手したのがきっかけだ。当時はそれぞれの仕事の分担表をA3の用紙に印刷して掲示していたが、藤沢さんは「施設長の私自身、仕事の流れが覚えられず、手順がのみ込めなかった」ほど、分かりにくい状態だったと振り返る。

このため、知人のデザイナーに相談。作業内容と順番と総量が分かるように、カード方式導入に踏み切った。

藤沢さんは「何をすればいいのかが分かれれば、仕事ができるようになり、職員に褒められる。仕事と評価を『見える化』した」と狙いを話す。

小冊子はA5判48ページ。編集・デザインは平井情報デザイン室（水戸市）、みずほ福祉財団の助成を受けた。小冊子はユーアイキッチンと同市吉沼町のユーアイ村で無料配布している。問い合わせはユーアイ村 ☎029（2222）1822。（武藤秀明）